

KAZUYA'S ROOM  
賀津也の部屋

永田町の政治は政策と政局の微妙なバランスの上に成り立っている。“政策なき政局は単なる政治ゲーム”だが、“政局なき政策は政治家の戯言”に過ぎない。

「榛葉ちゃん、3日前の晩飯、何食うたか覚えてるか？」

参議院自民党の重鎮である鴻池祥肇先生が、ある政治家のパーティーの席上で、いつもの関西弁で問いかけてきた。

「先生、覚えてません…(笑)」

「そやろ。今日も旨そうな料理がぎょうさん出てるけど、こんなん3日もすればみ～んな忘れてしまう。どんな旨い料理でも時間が経てば忘れる…。でもな、絶対に忘れられへん味があるんや。分かるか？」

「何ですか？先生」

「それはな…榛葉ちゃん、人間味や。与党野党を問わず、味のある政治家は一生忘れへん。でもな、今の永田町には3日もすれば忘れるような奴ばかりや。義理も人情も、味も素っ気もあらへん。榛葉ちゃんは、い～い味のでる政治家になりや！」

良い意味で古き良き昭和の政治家の鴻池先生は、森友学園問題の“コンニャク会見”で一躍時の人となったが、実は麻生太郎財務大臣の右腕で、その豪快さは政界では間違いなく5本の指に入る国会議員だ。そんな鴻池先生に「味のある政治家になれ！」とおっしゃっていただき、胸が熱くなった。

「榛葉さん、ここのところ随分とご活躍ですね…。国対委員長は大変でしょう。どうですか、今度一杯やりましょうよ」声をかけてくださったのは、伊吹文明前衆議院議長だった。労働大臣、国家公安委員長、

防災担当大臣、文部科学大臣、財務大臣を歴任され、派閥(伊吹派、現在の二階派)の領袖をされた伊吹先生は、安倍総理に対しても耳の痛いことを隠さずに言える政界のご意見番だ。プライベートでは料理の腕前はプロ並みの伊吹先生。その日はご自身が漬けられたというお漬け物をご地元の京都から持参され、共に日本酒をいただいた。

「榛葉さん、政治とは約束を守ることです。有権者との約束。党内の仲間同士の約束。官僚との約束。でも、一番難しくても大事な約束は違う政党の政治家同士の約束です。がんばってください」

国対委員長3年目の私には、伊吹先生がおっしゃる意味が痛いほど良く分かった。伊吹先生は続けてこうおっしゃった。

「それにしても…。今の政治は度量が小さい。民主主義の基本は多数決です。でも、多数決の基本は話し合い。徹底的に話し合い、野党の意見を十分聞いて、最後は多数決で決める。現在の内閣には野党の攻めを真っ正面から受け止める度量がない。こういう政治は崩れると脆いですよ。でも、榛葉さん、今の野党もだらしないですよ！」

時は、安倍内閣の人气が高く、森友学園や加計学園の問題で支持率が急落する前のことだ。衆議院当選10回で国会在籍34年の伊吹先生の言葉は非常に重かった。

二人の大先輩の発言の真意は、野党の国対委員長である私への激励であると同時に、現政権への苦言でもあった。衆参の与党の重鎮が、時を同じくして鳴らした現在の政治への警笛。この頃から「“安倍一強”の政治が必ず変化し出すな…」との想いを、私は抱き始めていた。

しんば賀津也と  
歩む会NEWS

vol.31

日頃より「歩む会」の皆様には温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。皆様のおかげさまで、私の国会議員生活も17年目に入ることができました。34歳で初当選した私も、今年4月で50歳になりました。17年前の初陣を飾った夏の志を忘れることなく、引き続き努力精進してまいります。

さて、「自民一強」「安倍一強」といわれてきた政府与党の支持率に大きな変化が現れてきました。安倍総理夫妻の意向を忖度して国有地を不当に売買したとされる「森友学園問題」に端を発し、総理のお友達の学校法人に対し不正に国家戦略特区制度を利用した疑念のある「加計学園問題」、稲田朋美前防衛大臣の南スーダン国連平和維持活動(PKO)部隊の日報隠ぺい問題など内閣の中樞が大きく揺れだしています。加えて、豊田真由子衆議院議員に代表される、いわゆる“魔の2期生”の度重なる不祥事など、若手議員の低レベルの不祥事もメディアを騒がせました。一時は6割以上あった内閣支持率は3割を割り込み、逆に不支持率は支持率を大きく上回り5割を超えています。

私はかねてより、安倍政権は三つの強い絆によって支えられている、と考えていました。一つ目は自民党内の絆。二つ目は自民党と公明党の連立の絆。そして三つ目が政府与党と霞が関(官僚)との絆です。この三つの絆がここにきて崩壊しはじめました。安倍総理の高い支持率と求心力は、強引かつ独善的な政権運営と表裏一体です。特定秘密保護法、安全保障関連法、IR法(カジノ推進法)そして共謀罪(組織的犯罪処罰法改正)と度重なる強引な強行採決による国会運営は与党内でも不満が鬱積しました。東京都議選で自民党と公明

党との亀裂は決定的となり、ついには官僚や官僚OBまでもが強引な政治主導に反旗を翻し始めました。文部科学省前事務次官の発言や防衛省内での情報リークは前代未聞の出来事です。

しかし、忘れてならないことは、この与党の弱体化は野党が強くなったの現象ではなく、数の力を背景にした政府与党の“驕りの政治”によって自らの瓦解が原因であるということです。与党の支持率が急落する一方で、受け皿になるべき野党第一党の民進党の支持率は上昇するどころか更に低下し、「無党派」といわれる有権者が6割を超えてしまっているのです。我が党はこの現状を猛省すべきであり、現在の手法、つまりは生活者や納税者、消費者や働く方々への政治的アプローチが間違っているということに気付かななくてはなりません。首に青筋を立てて政府与党を攻撃しているだけでは、国民は見向きもしてくれません。

超少子高齢化で、かつてない程に格差が拡大しているのが、現在の日本社会です。我々は、民主党時代からの原点である年金改革、介護をはじめ、子育て・教育・障がい者支援、多様性を認め合う社会の確立、無駄の撲滅と財政再建、そして汗して働く庶民の暮らしを底上げする事による経済成長に今一度焦点を当てるべきだと思います。選挙の得票のための安易な野党連携は“野合”であることを有権者はとうに気付いているのです。

次期臨時国会から、我々は再出発します。変わらぬご指導と叱咤激励を賜りますようお願い申し上げます。

参議院民進党国会対策委員長  
民進党静岡県連会長

参議院議員  
榛葉賀津也



ちよつとひといき ▶ [まちがいさがし] \ 左右でちがう箇所は全部で7個! 見つけれらるかな? /



答えは中面右下にあります



1/20 第193回 通常国会開会 国対委員長として



議員総会



両院議員総会



定例記者会見(週2回開催)



ぶら下がり会見



与野党国対委員長会談



2/6

政策審議会「政策勉強会(厚労:公的年金制度について)」

3/3 中部電力労働組合 静岡総支部・静岡電力総連 政治研修会



麻生財務大臣、飛び入り参加



3/23 JR貨物 打合せ(事業説明)

4/3 世界に誇る国民本位の 新たな国立公文書館建設を 実現する議連



4/3 安倍総理への要請



4/25 党お茶振興議員連盟

5/13 連合静岡中遠地域協議会の 方々と護衛艦「むらさめ」視察



5/15 WCRP国際活動支援議員 懇談会



6/22 らい予防法による被害者の 名誉回復及び追悼の日式典

5/25 委員会



5/25 事前質問通告



環境委員会 質疑



6/7 天皇の退位等に関する 皇室典範特例法案 特別委員会



7/31 参議院70周年記念 子ども国会

7/16~23 海外派遣・外国議会訪問 (ロシア・スウェーデン・アイスランド)



<マトヴィエンコ・ロシア連邦 連邦院議長表敬>



<フォッシュランド・スウェーデン王国 国会外務委員長との懇談>



<ビャルナルソン・アイスランド共和国 国会外務副委員長との懇談>

世界を見据えて。

日本のため、 未来のため。

国政活動 PICK UP

201701 ▶▶▶ 201707

地元活動 PICK UP

201701 ▶▶▶ 201707



2/15 浜松地区 国会見学&浅草・スカイツリー散策ツアー



4/1 玉木衆議院議員 第16回国政報告会(菊川市 アエル)



4/3 隅田川水上バスお花見ツアー(増上寺)



バス車内にてご挨拶



5/8 小池市議 桜町県議 鈴木市議 富士市にて街頭演説



グラウンドゴルフ大会in菊川

日時 11月11日(土) 午前8:30~ (午前8:10受付開始)

会場 小笠グラウンドゴルフ場 (菊川市下平川506-1)

参加費 500円

定員 200名

\*お申し込みは 事務所まで ご連絡ください。



県内各地の 選挙応援



4/9 掛川市議選



4/9 磐田市議選



5/14 島田市議選



6/11 県知事選

連合静岡各地域協議会メーデー



4/16 連合静岡湖西地域協議会メーデー (写真は湖西地域協議会)



5/27 歩む会理事会



6/4 日産労連静岡地協 東海地区 浜辺の集い